

薩摩青雲丸新聞 令和7年度第2次航海 第2号

第5代薩摩青雲丸 内地航海実習終了！ ～遠洋航海に向けて～

令和7年10月13日発行 鹿児島水産高校 薩摩青雲丸 指導教官

内地航海 境港 金沢 小樽 仙台

十月を迎え、寄港地の小樽、仙台では秋の気配を感じようになりました。鹿児島では日中三十度を超える日があるとのこと、残暑の厳しい日々が続いていることと思います。

さて、九月一八日に枕崎を出港した本船は、内地航海として船舶の輻輳する海域での操船・航海当直実習を行いながら、境港、金沢、小樽、仙台に寄港しました。この内地航海で航海計器を活用し、実践的な技術を身に付け、また、推進機関・発電機関その他出入港時に必要な機器の運転操作に関する技術も身に付けます。実習生達はこれまで学んだ知識をしっかりと定着させるために各々積極的に取り組んでいます。また、空き時間を活用して海技士試験対策に熱心に取り組む実習生の姿を見ると、次世代の海運・水産業界を担う彼等の責務感・意欲をひしひしと感じ、非常に頼もしく思います。

出港してから二十八日目となり、航程の半分を迎えようとしています。残りの実習も安全第一で取り組んでまいります。

海洋技術科実習

出入港時に使用する係船機の取り扱いについて学習します。大型の油圧機器を安全に、効率よく活用するには、チームワークが重要です。各人が取扱い・構造を熟知する必要があります。



船舶の進路を保ち、方位を測定するための磁気コンパスについて、二等航海士から講義を受けているところです。実習生たちは座学で学んだ内容を実践すること、確かな技術を身につけていきます。



機関技術科 機関コース実習

機関技術科、二年機関コースの実習生は、機関当直にペアで入直しています。初乗船で当初きこえなかった二年生も、当直業務にだいぶ慣れてきたようで、緊張の表情がほぐれてきたように思えます。また、出入港時に必要な機器・発電機・スラスタ（の発動・停止といった取扱いの実地を行います。機関室には様々な機器が設置されています。この日は船底のタンクから燃料を移送するポンプの手入れをしていました。縁の下の力持ちといった立場で一生懸命頑張っています。



出入港時は船橋で機関の実習生が機関の操縦を行います。緊張の面持ちです！！

操業に向けて

十月十七日にマグロ漁場に向けて出港します。現在のは延縄操業に必要な仕掛けの整理を乗組員の方と一緒に進めています。二年生はそれと並行して、仕掛けをまとめる練習を行っていただきます。回数を重ねるほど上手になっていく様子が伺えます。大漁を願って頑張りましょう！



仙台バス観光

二年生を対象に、仙台寄港時にバスツアーを実施しました。青葉城跡、瑞鳳殿、大崎八幡宮、五堂、瑞巖寺、鹽竈神社に訪問参拝しました。ツアーガイドの方の、歴史・地理・風土といった観点から興味深いお話を聴きながらの観光で、生徒達も一歩踏み込んだ内容で存分に満喫できました。最後は日本三景の一つである松島で観光船クルーズを行い、夕日に輝く島々を望みながら締めくくりました。



海洋技術 札幌時計台

自主研修

寄港地の歴史や風土を肌で感じ、見聞を広めることで社会性を養う目的で行います。公共交通機関を使いこなす良い訓練にもなっています。